

The background of the advertisement features a dynamic splash of water against a dark, almost black, background. The water is captured in mid-air, with numerous droplets and a frothy, white crest. The lighting highlights the texture and movement of the water, creating a sense of energy and motion. The overall aesthetic is sleek and modern, consistent with the branding of the HERO 7 BLACK smartphone.

HERO 7

BLACK

GoPro ムーブメントに参加



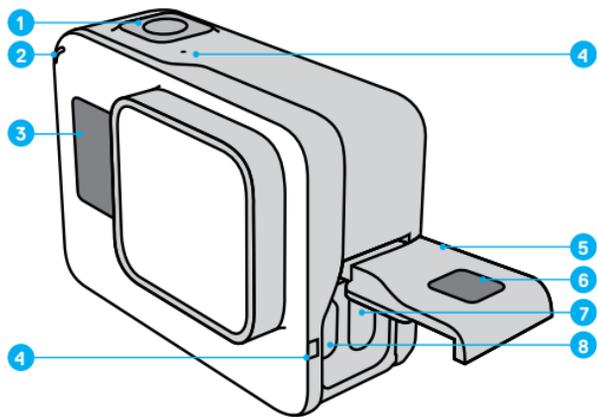
目次

HERO7 Black の外観	6
カメラのセットアップ	8
GoPro カメラの紹介	13
QuikCapture の使用	22
HiLight タグの追加	24
ビデオの撮影	25
ビデオの設定	29
写真撮影	32
写真の設定	36
タイム ラプスの撮影	38
タイム ラプスの設定	39
ライブ ストリーミング	41
動きを捉える	42
露出コントロール	44
外付けマイクへの接続	47
音声で GoPro を操作	48
メディアの再生	52
カメラを HDTV と併用する	56
その他のデバイスへの接続	58
メディアの転送	60

目次

GoPro のカスタマイズ	84
重要なメッセージ	71
カメラのリセット	73
GoPro のマウント方法	75
サイド ドアの取り外し	81
メンテナンス	83
バッテリーの情報	84
トラブルシューティング	87
仕様: ビデオ	88
仕様: 写真	102
仕様: タイム ラプス	107
仕様: Protune	112
カスタマー サポート	120
登録商標	120
HEVC 事前通知	121
規制情報	121

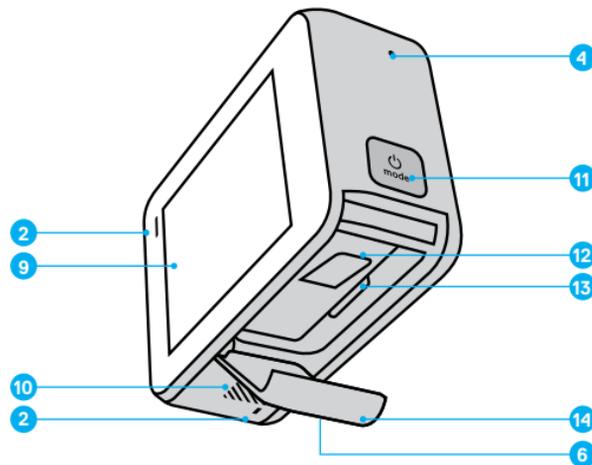
HERO7 Black の外観



1. シャッター ボタン 
2. ステータス ライト
3. ステータス スクリーン
4. マイク
5. サイド ドア

6. ラッチ リリース ボタン
7. USB-C ポート
8. マイクロ HDMI ポート
(ケーブルは別売)
9. タッチ スクリーン

HERO7 Black の外観



10. スピーカー
11. モード ボタン 
12. バッテリー
13. microSD カード スロット
14. バッテリー ドア

GoPro に付属しているアクセサリの使用方法は、*GoPro のマウント方法* (75 ページ) をご参照ください。

カメラのセットアップ

MICROSD カード

ビデオと写真を保存するために、microSD カード (別売) が必要です。次の要件を満たす有名ブランド製のカードを使用してください。

- ・ microSD、microSDHC、または microSDXC
- ・ Class 10 または UHS-I レート
- ・ 最大容量 128 GB

推奨される microSD カードのリストについては、gopro.com/microsdcardsをご覧ください。

注意: SD カードを取り扱う前に、手が清潔で乾いていることを確認してください。カードの許容温度範囲やその他の重要事項は、カード製造元のガイドラインを確認してください。

プロからのヒント: 定期的に SD カードを再フォーマットして、適切な状態に保ってください。再フォーマットするとメディアがすべて消去されます。再フォーマット前に必ず保存してください。

1. 下にスワイプしてダッシュボードにアクセスします。
2. 「ユーザー設定」 > 「リセット」 > 「SD カードをフォーマット」をタップします。

ビデオと写真を保存する方法については、[メディアの転送](#) (60 ページ) をご参照ください。

カメラのセットアップ

MICROSD カードの取り付け

1. バッテリー ドアにあるラッチ リリース ボタンを押しながら、ドアをスライドさせて開きます。



2. カメラをオフにして、SD カードのラベルをバッテリー コンパートメント側に向けた状態でカードスロットに挿入します。



SD カードを取り出すには、カードを指の爪でスロット内に押し込みます。

カメラのセットアップ

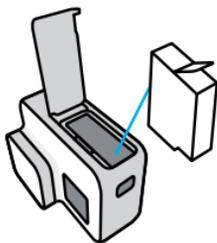
バッテリーの取り付け + 充電

出発前には忘れずにバッテリーをフル充電しましょう。

1. バッテリー ドアにあるラッチ リリース ボタンを押しながら、ドアをスライドさせて開きます。

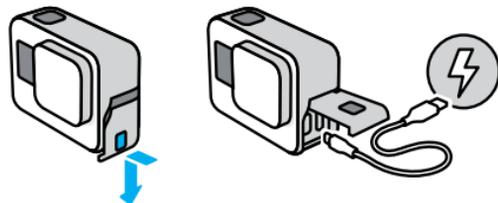


2. バッテリーを挿入してドアを閉じます。



カメラのセットアップ

3. サイド ドアを開け、付属の USB-C ケーブルを使用して、カメラを USB 充電器またはコンピューターに接続します。



バッテリーがフル充電されるまでには約 2 時間かかります。充電が完了すると、カメラ ステータス ライトがオフになります。詳細については、[バッテリーの情報](#) (84 ページ) をご参照ください。

プロからのヒント: 高速充電には、GoPro Supercharger (スーパーチャージャー) (別売) を使用してください。

カメラのセットアップ

カメラのソフトウェアを更新する

GoPro で最新機能を使用しながら最高の性能を楽しむには、カメラのソフトウェアが最新であることを確認してください。

GoPro アプリを使用した更新

1. Apple App Store または Google Play からアプリをダウンロードします。
2. 画面上の指示に従い、カメラをモバイル デバイスに接続します。新しいカメラ ソフトウェアが利用可能な場合は、アプリにインストール方法が表示されます。

Quik (クイック) デスクトップ アプリを使用した更新

1. gopro.com/apps からアプリをダウンロードします。
2. 付属の USB-C ケーブルでカメラをコンピューターに接続します。新しいカメラ ソフトウェアが利用可能な場合は、アプリにインストール方法が表示されます。

手動による更新

1. gopro.com/update をご覧ください。
2. カメラのリストから「HERO7 Black」を選択します。
3. 「手動でカメラを更新」を選択し、指示に従います。

プロからのヒント: 使用しているソフトウェアのバージョンを知りたい場合は、以下の手順で確認できます。

1. 下にスワイプしてダッシュボードにアクセスします。
2. 「ユーザー設定」 > 「バージョン情報」 > 「カメラ情報」をタップします。

GoPro カメラの紹介

電源オン

HERO7 Black の電源をオンにするには、モード ボタン  を押します。



電源オフ

電源をオフにするには、モード ボタン  を長押しします。



警告: GoPro 本体およびマウントやアクセサリは、充分にご注意の上ご利用ください。使用者および周囲の人々に危険が生じないように、使用時には常に周囲に気を配ってください。

現地の各種プライバシー法など、特定地域での録画を制限しうるすべての法律に従ってください。

GoPro カメラの紹介

撮影モード

GoPro には 3 つのメイン撮影モードがあります。



左または右にスワイプして必要なモードに変更します。

ビデオ

ビデオにはビデオとループ映像が含まれています。

詳細については、[ビデオの撮影](#) (25 ページ) をご参照ください。

写真

写真には、写真、連写、夜間が含まれています。

詳細については、[写真撮影](#) (32 ページ) をご参照ください。

タイム ラプス

タイム ラプスには、TimeWarp (タイムワープ) ビデオ、タイム ラプス ビデオ、タイム ラプス フォト、ナイト ラプス フォトが含まれています。詳細については、[タイム ラプスの撮影](#) (38 ページ) をご参照ください。

プロからのヒント: カメラの電源がオンになっているときは、モードボタン  を押してモードを切り替えることができます。

GoPro カメラの紹介

カメラの方向

GoPro では横向きと縦向きを簡単に切り替えることができます。逆さまにマウントしても、正しい側を上にしてビデオと写真が撮影できます。タッチスクリーンのメニューが自動的に調整され、正しい側を上にしてメディアが再生されます。

シャッター ボタン  を押すと、カメラの天地がロックされます。ローラーコースターに乗っているときに、カメラを録画中に傾けると、映像も傾きます。すべてのひねりや回転が表現されます。

横方向のロック

カメラを横向きにロックします。カメラを縦向きに回転しても、画面上のカメラのメニューは変わりません。

1. 下にスワイプしてダッシュボードにアクセスします。
2. 「ユーザー設定」 > 「タッチ スクリーン」 > 「横方向のロック」をタップします。

注意: 横方向のロックをオンにして縦方向で撮影したビデオと写真は、横倒しの状態で表示されます。

プロからのヒント: 横方向のロックを使用すれば、誤って縦向きでビデオ撮影する事態が防げます。これは、ボディ マウントやハンドヘルド マウントを使用している場合に最適です。

GoPro カメラの紹介

撮影モード

この画面では、カメラのすべての撮影設定にアクセスし、GoPro に関する情報を表示することができます。表示される設定は、モードによって異なります。



1. 現在のモード (ビデオ、写真、タイム ラプス)
2. 残りの撮影時間/写真
3. ショート クリップ動画
4. 撮影モード
5. 録画設定
6. バッテリー ステータス
7. タッチ ズーム

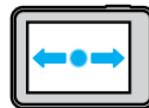
注意: 設定メニューは、縦方向に撮影する場合には使用できません。カメラを回転させる前に、これらの設定を調整してください。

GoPro カメラの紹介

タッチ スクリーンの使用



タップ
アイテムを選択する。または設定のオン、オフを切り替える。



左右にスワイプ
ビデオ、写真、タイム ラプスの 3 モードを切り替える。



画面の端から下にスワイプ
カメラが横向きになっている場合にダッシュボードを開く。



画面の端から上にスワイプ
メディア ギャラリーのビデオと写真を見る。



長押し
露出コントロールをオンにして調整する。

GoPro カメラの紹介

シャッター ボタンを使用する

1. 撮影を開始するには、シャッター ボタン  を押します。
2. シャッター ボタン  をもう一度押して、撮影を停止します (ビデオ、タイム ラプス、およびライブ ストリーミングのみ)。

モード + 設定の変更

1. 左または右にスワイプして、必要なモードを選択します。



2. 「撮影モード アイコン」をタップして、使用可能な撮影モードをすべて表示します。



GoPro カメラの紹介

3. リストから撮影モードを選択します。



4. 解像度を変更したり、その他の調整を行う場合は、設定をタップします。



GoPro カメラの紹介

5. 変更したい設定をタップします。



選択した内容が白で表示されます。選択した他の設定と互換性がないオプションは、グレーで表示されます。



注意: 設定メニューは、GoPro を縦方向に回転させた場合には使用できません。カメラを回転させる前に、これらの設定を調整してください。

GoPro カメラの紹介

ボタンでナビゲートする

GoPro は防水ですが、水中ではタッチ スクリーンが機能しません。ボタンとフロント画面を使用して、モードと設定を変更します。

1. カメラの電源を入れた状態でモード ボタン (MODE) を長押しし、シャッター ボタン (SHUTTER) を押します。フロント画面にメニューが表示されます。
2. モード ボタンを押して、モードと設定をスクロールします。
3. シャッター ボタンを使用して、設定の選択と調整をします。終了するには、シャッター ボタンを長押しするか、「完了」までスクロールしてからシャッター ボタンを押します。

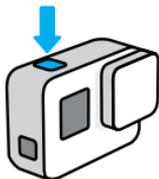
注意: ボタンを使用してナビゲートする場合は、タッチボードとメディアギャラリーは使用できません。

QuikCapture の使用

QuikCapture (クイックキャプチャ) を使えば、すぐ、簡単に GoPro の電源を入れ、撮影をすることができます。1 個のボタンを押すだけで済みます。

QUIKCATURE でビデオを録画する

1. カメラの電源がオフの状態、シャッター ボタン  を押します。



2. 録画を停止し、カメラの電源をオフにするには、シャッターボタン  をもう一度押します。

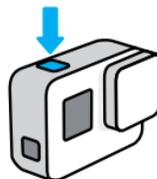
注意: QuikCapture を使用すると、最後に使用した設定で録画が開始されます。

その他のビデオ オプションについては、[ビデオの撮影](#) (25 ページ) を参照してください。

QuikCapture の使用

QUIKCATURE でタイム ラプス フォトを撮影する

1. カメラがオフの状態、シャッター ボタン  を約 3 秒長押ししてカメラをオンにします。



2. タイム ラプスを停止し、カメラの電源をオフにするには、シャッターボタン  をもう一度押します。

タイム ラプスのオプションの詳細については、[タイム ラプスの撮影](#) (38 ページ) を参照してください。

QUIKCATURE のオフ

QuikCapture は初期設定でオンになっていますが、オフにできます。

1. 下にスワイプしてダッシュボードにアクセスします。
2.  をタップします。

プロからのヒント: 録画のときだけカメラの電源がオンになる QuikCapture を使用すれば、バッテリー残量を最大限に引き延ばすことができます。

HiLight タグの追加

ビデオや写真のお気に入りの場面にマークを付けるには、撮影中や再生中にモード ボタン  を押します。HiLight タグ  を追加することで、映像を見たり、ビデオを作成したり、特定のショットを探す際の検索が簡単になります。



HiLight タグの追加は、GoPro アプリからも可能です。また音声コントロールがオンになっているときに「GoPro ハイライト」と話しかけることで追加することもできます。

プロからのヒント: QuikStories (クイックストーリーズ) は、ビデオを作成するときに HiLight タグを自動検索します。このため、お気に入りの場面がストーリーに含まれるようになります。

ビデオの撮影

GoPro には 2 つのビデオ撮影モード (ビデオ、ループ) があります。それぞれに個別の設定があります。

ビデオ

このモードは、従来のビデオを最大 4K の解像度で撮影します。初期設定では、アスペクト比 4:3 の広角視野角の 1440p60 ビデオで、ビデオ安定化機能と自動光量調整が「自動」に設定されています。

ビデオ ループ

ループでは継続して録画を行いますが、残したい瞬間だけを保存します。何かが起こるのを待っているときに使用したり (釣りなど)、何も起こらないかもしれないときに使用します (車載カメラなど)。

しくみ

- ループの間隔を 5 分に設定すると、シャッター ボタン  を押して録画を停止した直前の 5 分間が保存されます。
- 5 分間録画してシャッター ボタン  を押さなかった場合は、カメラはループバックしてビデオの先頭から重ね撮りします。

初期設定のループは、アスペクト比 4:3 の広角視野角 1440p60 ビデオを 5 分間隔で撮影します。

詳細については、[ループの間隔](#) (101 ページ) をご参照ください。

ビデオの撮影

短編クリップの録画

HERO7 Black では、すばやく簡単にスマートフォンに保存してソーシャルメディアで共有できる短編ビデオ クリップが撮影できます。また、GoPro アプリを使用した QuikStory 映像の作成にも最適です。

1. ビデオ画面で、 をタップします。



2. 撮影するクリップの長さ (15 秒または 30 秒) を選択します。



ビデオの撮影

3. 撮影を開始するには、シャッター ボタン  を押します。境界線が画面の周囲を回り始め、クリップの残り時間を示します。



カメラは、クリップ終了時に自動的に録画を停止します。またクリップ終了前にシャッター ボタン  を押して録画を停止することもできます。

ビデオの撮影

タッチ ズームの使用

タッチ ズームを使用すると、アクションをもっと間近で撮影できます。

1. ビデオ画面で、 をタップします。



2. スライダーを使用して、ズームのレベルを選択します。



3. 任意の場所をタップして終了します。ズーム レベルは、再調整するか、撮影モードを切り替えるか、カメラの電源をオフにするまでロックされています。

プロからのヒント: クリップ、ズームや必要に応じた設定を組み合わせ、撮影条件を設定できます。

ビデオの設定

「設定」をタップして、ビデオ解像度、フレーム レートなどを調整します。



解像度 | FPS

解像度 (RES) は、アスペクト比によってグループ化されています。解像度 | FPS 画面の右上隅にあるアスペクト比をタップして、縦が長い 4:3 (自撮りや POV 撮影に最適) とワイドスクリーンの 16:9 (映画のような撮影に最適) を切り替えます。

解像度とフレーム/秒 (fps) を選択します。より高いフレームレートを使用すると、速い動きを撮影したり、スローモーション ビデオを作成したりできます。選択した解像度のすべてのフレーム レートが白で表示されます。使用できない設定はグレーで表示されます。

詳細については、以下をご参照ください。

- ・ [ビデオの解像度 \(RES\)](#) (88 ページ)
- ・ [フレーム/秒 \(FPS\)](#) (91 ページ)
- ・ [アスペクト比](#) (92 ページ)

ビデオの設定

視野角 (ビデオ)

SuperView、広角、魚眼無効から視野角 (FOV) を選択します。FOV 画面右側のオプションをスクロールして、各オプションのライブプレビューを確認してから、必要なオプションをタップします。

注意: 選択できる視野角は、選択した解像度とフレームレートによって異なります。

詳細については、[視野角 \(ビデオ\)](#) (93 ページ) をご参照ください。

低光

ビデオを 50 または 60 フレーム/秒で撮影すると GoPro は自動光量調整を使用して、暗い環境用の設定に自動的に調整します。初期設定では「自動」に設定されていますが、オフにすることも可能です。

詳細については、[自動光量調整](#) (101 ページ) をご参照ください。

安定化

サイクリング、スケート、スキーなどでの手持ち撮影に最適で、HyperSmooth (ハイパースムーズ) ビデオ安定化機能が、ジンバルを使用しているかのような驚くほど滑らかな映像を実現します。安定化機能は初期設定で「自動」に設定されています。

解像度とフレームレートを選択すると、GoPro は映像の撮影に HyperSmooth 安定化もしくは標準安定化を使用しているか、または使用していないかを知らせます。

詳細については、[ビデオ安定化](#) (97 ページ) をご参照ください。

ビデオの設定

PROTUNE

カラー、ISO 上限、露出、マイクの設定などを手動で制御するには、Protune をオンにします。

詳細については、[Protune](#) (112 ページ) をご参照ください。

間隔 (ループ)

ループバックしてビデオの先頭から重ね撮りするまでに、GoPro が録画する時間を選択します。

詳細については、[ループの間隔](#) (101 ページ) をご参照ください。

写真撮影

GoPro には 3 つの写真撮影モード (写真、連写、夜間) があります。写真は、12 MP で撮影されます。それぞれのモードには個別の設定があります。

写真

このモードを使用すると、1 枚ずつ写真を撮影するか、連続撮影を行うことができます。シャッター ボタン  を 1 度押すと、1 枚写真を撮影します。

シャッターボタン  を長押しして、1 秒あたり 3 枚または 30 枚の連続した写真を撮影します (照明条件によって異なります)。初期設定では、視野角は広角、スーパーフォトはオフになっています。

連写

連写では、1 秒あたり最大 30 枚の高速レートで写真を撮影します。アクションの撮影に最適です。連写の初期設定の視野角は広角に設定され、1 秒に 30 枚のレートで撮影します。

夜間

夜間モードでは、より多くの光量を得られるように、カメラのシャッターが長い間開いたままになります。薄暗いシーンや暗いシーンに最適ですが、カメラが動くハンドヘルドやマウント撮影はお勧めしません。夜間用の初期設定の視野角は広角で、シャッターは「自動」に設定されています。

写真撮影

写真タイマーの設定

タイマーを使用して、自撮りや集合写真などを撮影します。

1. 写真画面で、 をタップします。



2. 3 秒 (自撮り向け) または 10 秒 (集合写真向け) を選択します。



写真撮影

- シャッター ボタン  を押します。カメラがカウントダウンを始めます。電子音が鳴り、前面のステータス ライトが点滅します。どちらも、写真を撮影するまでの残り時間が少なくなるにつれて速度が増します。



注意: 低光量での不鮮明なショットとならないよう、ナイト フォト モードに切り替えるとタイマーは自動的に3秒に設定されます。

写真撮影

タッチ ズームの使用

タッチ ズームを使用すると、アクションをもっと間近で撮影できます。

- 写真画面で、 をタップします。



- スライダーを使用して、ズームのレベルを選択します。



- 任意の場所をタップして終了します。ズーム レベルは、再調整するか、撮影モードを切り替えるか、カメラの電源をオフにするまでロックされています。

プロからのヒント: 連写、写真タイマー、ズームは、必要に応じて任意に組み合わせることで自分好みの撮影条件が設定できます。

写真の設定

「設定」をタップして視野角を調整したり、スーパーフォトをオンにすることができます。



視野角

広角か魚眼無効から視野角 (FOV) を選択します。FOV 画面右側をスクロールして、それぞれのライブプレビューを確認してから、設定したい方をタップします。

詳細については、[視野角 \(写真\)](#) (105 ページ) をご参照ください。

スーパーフォト

スーパーフォトは、高度な画像処理を自動的に使用して、どんな照明条件下でも最高の写真を実現します。ただし、各ショットの処理には時間がかかる場合があります。スーパーフォトは初期設定ではオフになっています。オンにするには、「自動」を選択するか、HDR をオンにして、すべてのショットでハイダイナミックレンジ処理を行います。

詳細については、[スーパーフォト](#) (102 ページ) をご参照ください。

RAW

オンにすると、写真を .jpg と .gpr ファイルとして保存します。詳細については、[RAW 形式](#) (105 ページ) をご参照ください。

写真の設定

PROTUNE

写真、連写、夜間の3つの写真撮影モードの設定を手動で制御します。

詳細については、[Protune](#) (112 ページ) をご参照ください。

レート (連写)

1、2、3、または6秒で、カメラが連写する写真の枚数を設定します。

詳細については、[連写レート](#) (104 ページ) をご参照ください。

シャッター (夜間)

夜間の撮影時に、カメラのシャッターを開いたままにする時間を設定します。暗い場所での撮影では長めの露出を選択してください。

詳細については、[シャッター速度](#) (104 ページ) をご参照ください。

タイム ラプスの撮影

GoPro には 4 つのタイム ラプス撮影モード (TimeWarp ビデオ、タイム ラプス ビデオ、タイム ラプス フォト、ナイト ラプス フォト) があります。それぞれのモードには個別の設定があります。

TIMEWARP ビデオ

HERO7 Black は、撮影者が動いている場合でも、安定感抜群のタイム ラプス ビデオを素早く撮影できます。マウンテンバイクの走行中やハイキングなどに最適です。初期設定では 1440 p のアスペクト比 4:3 の広角視野外角ビデオを 10 倍速で撮影します。

タイム ラプス ビデオ

タイム ラプス ビデオは、長時間のイベントを共有可能な短いビデオにしてくれます。夕日や街中の撮影など、カメラを静止して撮影する場合に最適です。初期設定では 1440p のアスペクト比 4:3 の広角視野外角ビデオを 0.5 秒間隔で撮影します。

タイム ラプス フォト

タイム ラプス フォトなら、撮影はカメラに任せてアクティビティに集中できます。連続した写真を撮影しておき、後で最もよいショットを探し出すことができます。初期設定では、0.5 秒間隔の広角視野外角で撮影します。

ナイト ラプス フォト

ナイト ラプス フォトでは、暗い環境で連続した写真を撮影することができます。より多くの光量を得るために、シャッターの開放時間は長くなります。初期設定のシャッター速度と間隔は「自動」に、視野外角は「広角」に設定されています。

タイム ラプスの設定

「設定」をタップして、ビデオ解像度、視野外角などを調整します。



解像度 (TIMEWARP + タイム ラプス ビデオ)

ショットのビデオ解像度 (RES) とアスペクト比を選択します。解像度が高いほど、映像は鮮明になります。

詳細については、[ビデオの解像度 \(TimeWarp + タイム ラプス ビデオ\)](#) (108 ページ) をご参照ください。

速度 (TIMEWARP ビデオ)

ビデオの速度を設定します。短い動作作用の低速 (2 倍速または 5 倍速) か、長い動作作用の高速 (10 倍速、15 倍速、または 30 倍速) を選択します。

詳細については、[TimeWarp ビデオの速度](#) (107 ページ) をご参照ください。

FOV

すべての TimeWarp およびタイム ラプス ビデオを広角視野外角で撮影します。タイム ラプスおよびナイト ラプス フォトは、広角または魚眼無効の FOV で撮影することができます。

詳細については、[視野外角 \(写真\)](#) (105 ページ) をご参照ください。

タイム ラプスの設定

間隔 (タイム ラプス ビデオ + タイム ラプス フォト)

カメラがビデオのフレームや写真を撮影する頻度を選択します。短時間の活動では短い間隔を選択し、長時間の活動では長い間隔を選択してください。

詳細については、[タイム ラプスの間隔](#) (109 ページ) をご参照ください。

シャッター (ナイト ラプス フォト)

夜間の撮影時に、カメラのシャッターを開いたままにする時間を設定します。暗い場所での撮影では長めの露出を選択してください。

詳細については、[シャッター速度](#) (104 ページ) をご参照ください。

間隔 (ナイト ラプス フォト)

低光量や超低光量の場合に、カメラが写真を撮影する頻度を設定します。動きや光量が多い場合は、短い間隔を選択します。動きや光がほとんどない場合は、長い間隔を使用します。

詳細については、[ナイト ラプス フォトの間隔](#) (111 ページ) をご参照ください。

RAW (タイム ラプス + ナイト ラプス フォト)

写真を .jpg と .gpr ファイルとして保存します。

詳細については、[RAW 形式](#) (105 ページ) をご参照ください。

PROTUNE (タイム ラプス フォト + ナイト ラプス フォト)

タイム ラプスやナイト ラプス フォトの撮影時に設定を手動で行います。

詳細については、[Protune](#) (112 ページ) をご参照ください。

ライブ ストリーミング

ライブストリームの設定

1. GoPro アプリに接続します。詳細については、[GoPro アプリへの接続](#) (58 ページ) をご参照ください。
2. アプリで  をタップして、カメラを制御します。
3.  をタップして、指示に従ってストリームを設定します。

詳しい手順については、gopro.com/live-stream-setup を参照してください。

動きを捉える

お気に入りの活動を撮影するのに最適なモードや設定があります。まずは試してみて、ぴったりのものを見つけてください。

アクティビティ	ビデオ	写真
車へのマウント	<ul style="list-style-type: none">1440p60、広角視野角4K60、広角視野角5x TimeWarp ビデオ	写真、または連続写真、広角視野角
家族/旅行	<ul style="list-style-type: none">1440p60、広角視野角4K60、広角視野角10x TimeWarp ビデオ	写真、または連続写真、広角視野角
サイクリング、マウンテンバイク	<ul style="list-style-type: none">1440p60、広角視野角2.7K60 4:3、広角視野角15x TimeWarp ビデオ	タイム ラプス フォト (10 秒間隔)、広角視野角
ハイキング	<ul style="list-style-type: none">1440p60、広角視野角4K30 4:3、広角視野角15x TimeWarp ビデオ	写真、広角視野角
オートバイ、モトクロス	<ul style="list-style-type: none">1440p60、広角視野角2.7K60 4:3、広角視野角15x TimeWarp ビデオ	タイム ラプス フォト (5 秒間隔)、広角視野角

動きを捉える

アクティビティ	ビデオ	写真
スキー、スノーボード (非 POV*)	<ul style="list-style-type: none">1080p120、広角視野角4K60、広角視野角15x TimeWarp ビデオ	タイム ラプス フォト (1 秒間隔)、広角視野角または連写 (3 秒間に 30 枚)、広角視野角
スキー、スノーボード (POV*)	<ul style="list-style-type: none">1440p60、広角視野角1440p120、広角視野角15x TimeWarp ビデオ	タイム ラプス フォト (2 秒間隔)、広角視野角または連写 (3 秒間に 30 枚)、広角視野角
サーフィン	<ul style="list-style-type: none">1080p240、広角視野角	タイム ラプス フォト (5 秒間隔)、広角視野角または連写 (6 秒間に 30 枚)、広角視野角
水中のアクティビティ	<ul style="list-style-type: none">1440p60、広角視野角4K60、広角視野角	タイム ラプス フォト (2 秒間隔)、広角視野角
水上のアクティビティ	<ul style="list-style-type: none">1440p60、広角視野角1080p240、広角視野角	タイム ラプス フォト (5 秒間隔)、広角視野角

*視点 (POV) ショットは自分の視点から撮影されたショットです。非 POV ショットは自分とは別の視点から撮影されたショットです (GoPro をスキー ボールやサーフボードに取り付ける場合など)。

露出コントロール

HERO7 Black はシーン全体をスキャンして、撮影の露光レベルを選択します。露出コントロールを使用して、撮影画面から選んだ領域に合わせた露光量を設定することができます。

タッチ スクリーンで映像のプレビューを確認します。暗すぎる部分や明るすぎる部分がある場合は、露光コントロールを試してください。

自動露出を使用して露出コントロールを設定する

このオプションを使用すると、あらかじめ選択した領域の露光を基準にして自動的に露出を調整します。

たとえば、カメラが車のダッシュボードにマウントされているとします。このような場合には、ダッシュボードではなく車外の風景に合わせて露出を設定したいはずです。事前の設定によって、露出オーバー（白とび）を防ぐことができます。

1. 中央にドットがある角括弧が画面の中央に表示されるまでタッチ スクリーンを押します。これは露光計です。撮影画面中央の露光に基づいて露出を設定します。
2. 撮影画面内の別の領域から露出を設定したい場合は、中央から角括弧をドラッグして移動します。(角括弧をドラッグする代わりに、設定に使用するエリアをタップしても OK です)。
3. 画面をチェックして、露出が適正に見えるかどうかを確認します。右下にある  をタップします。



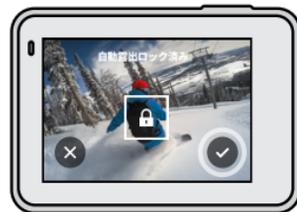
露出コントロール

露出ロックを使用して露出コントロールを設定する

このオプションを使用すると、キャンセルするまでカメラの露出がロックされます。

晴れた日にスノーボードをしているときに、被写体のジャケットに露出をロックしたいことがあります。こうすることで、非常に明るい雪に反応して撮影が露出アンダー（黒つぶれ）になることを防止できます。

1. 中央にドットがある角括弧が画面の中央に表示されるまでタッチ スクリーンを押します。これは露光計です。撮影画面中央の露光に基づいて露出を設定します。
2. 撮影画面内の別の領域から露出を設定したい場合は、中央から角括弧をドラッグして移動します。(角括弧をドラッグする代わりに、設定に使用するエリアをタップしても OK です)。
3. 角括弧の内側をタップして、露出をロックします。
4. 画面をチェックして、露出が適正に見えるかどうかを確認します。右下にある  をタップしてロックします。



露出コントロール

露出コントロールをオフにする

撮影モードを切り替えるかカメラを再起動すると、露出コントロールは自動的にオフになります。手動でオフにすることもできます。

1. 中央に四角形が表示されるまでタッチスクリーンを押します。
2. 左下で  をタップします。

注意: 露出コントロールをキャンセルすると、カメラは自動的にシーン全体で露光レベルを設定するように再びなります。

外付けマイクへの接続

外付けマイクを使用して、ビデオのオーディオ品質を向上させることができます。

1. GoPro の 3.5 mm マイク アダプター (別売) を使用して、カメラの USB-C ポートにマイクを接続します。
2. カメラのメイン画面を下にスワイプしてダッシュボードにアクセスします。
3. 「ユーザー設定」 > 「入出力」 > 「音声入力」をタップします。
4. 「オプション」をタップします。

オプション	説明
標準マイク (初期設定)	無動力マイクをサポートします。
標準マイク+	無動力マイクをサポートし、20 dB ブーストを提供します。
動力マイク	セルフ動力マイクをサポートします。
動力マイク+	セルフ動力マイクをサポートし、20 dB ブーストを提供します。
ラインイン	他のオーディオ機器からのラインレベルの出力をサポートします (ミキシング ボード、ギター プリアンプ、カラオケ機器など)。

注意: 選択するオプションが不明な場合は、マイクに付属している情報を確認してください。

音声で GoPro を操作

音声コントロールを使用すると、GoPro をハンズフリーで簡単に操作できます。ハンドルバーやスキーのストックなどで手がふさがっているときに便利です。実行したい操作を GoPro に話しかけるだけです。

音声コントロールのオン/オフの切り替え

1. 下にスワイプしてダッシュボードにアクセスします。
2.  をタップして音声コントロールをオンまたはオフにします。

音声で GoPro を操作

音声コマンドのリスト

音声コマンドには、アクション コマンドとモード コマンドの 2 種類があります。

アクション コマンドの使用

モードを直ちに切り替えることができます。ビデオを録画した直後でも、「GoPro 写真」と言えば、手動によるモードの切り替えなしで写真を撮影することができます。

アクション コマンド	説明
GoPro ビデオ スタート	ビデオの録画を開始します。
GoPro ハイライト	撮影中に HiLight タグを追加します。
GoPro ビデオ ストップ	ビデオ撮影を停止します。
GoPro 写真	写真を 1 枚撮影します。
GoPro パースト	連写で写真を撮影します。
GoPro タイム ラプス スタート	タイム ラプス フォトの撮影を開始します。
GoPro タイム ラプス ストップ	タイム ラプス フォトの撮影を停止します。
GoPro 電源オン	カメラの電源をオンにします (音声起動をオンにしておく必要があります)。
GoPro 電源オフ	カメラの電源をオフにします。

音声で GoPro を操作

モード コマンドの使用

モード コマンドで、いつでも撮影モードを切り替えることができます。
「GoPro 撮影」と言うか、シャッター ボタンを押して撮影します。

モード コマンド

説明

GoPro ビデオ モード	カメラをビデオ モードに切り替えます (録画は開始しません)。
GoPro 写真モード	カメラを写真モードに切り替えます (撮影は開始しません)。
GoPro バースト モード	カメラを連写モードに切り替えます (連写は開始しません)。
GoPro タイム ラプス モード	タイム ラプス フォト モードにカメラを切り替えます (タイム ラプス フォト撮影は開始しません)。
GoPro 撮影	選択したモードで、ビデオや写真の撮影を開始します。
GoPro 撮影ストップ	ビデオ モードおよびタイム ラプス モードでの撮影を停止します。写真および連写モードは自動的に停止します。

プロからのヒント: ビデオまたはタイム ラプス フォトを撮影中の場合は、新しいコマンドを試す前に撮影を停止する必要があります。

音声で GoPro を操作

音声による GOPRO の電源オン

この設定では、GoPro の電源オフ時に電源が入り、音声コマンドに反応します。

1. 下にスワイプしてダッシュボードにアクセスします。
2.  をタップして、音声コントロールをオンにします。
3. 「ユーザー設定」 > 「音声コントロール」 > 「音声起動」をタップします。
4. カメラの電源をオフにするには、「GoPro 電源オフ」と言うか、モード ボタン  を押します。
5. カメラの電源をオンにするには、「GoPro 電源オン」または「GoPro ビデオ スタート」と言います。

注意: カメラは電源をオフにした後も、8 時間コマンドを聞き取ります。

カメラのコマンドの完全なリストを参照する

1. 下にスワイプしてダッシュボードにアクセスします。
2. 「ユーザー設定」 > 「音声コントロール」 > 「コマンド」をタップします。

音声コントロールの言語を変更する

1. 下にスワイプしてダッシュボードにアクセスします。
2. 「ユーザー設定」 > 「音声コントロール」 > 「言語」をタップします。

注意: 音声コントロールは、風、ノイズ、カメラとの距離によって影響を受ける場合があります。最高のパフォーマンスを得るために、カメラをきれいに保ち、ごみを拭き取ります。

メディアの再生

上にスワイプすると、最後に撮影したビデオ、写真、連写のいずれかが表示されます。左または右にスワイプすると、SD カードの他のすべてのファイルを繰ることができます。



メディア ギャラリーには、次の再生オプションが含まれています。

- || 再生を一時停止する
- ▶ 再生を再開する
- ☰ SD カードのすべてのメディアを表示する
- 🗑️ SD カードからファイルを削除する
- 🔄 スローモーション/通常速度で再生する
- 🎛️ スライダーを使用してビデオ、連写、タイム ラプス写真を閲覧する
- 🏷️ HiLight タグを追加/削除する

メディアの再生

🔊 再生音量を調整する

◀ ▶ 連写または連続写真のグループで前後の写真に移動する

注意: 再生オプションは、表示しているメディアのタイプによって異なります。

プロからのヒント: 一部の再生オプションは、カメラを縦向きに持っている場合は使用できません。カメラを回転する前に、横向きでこれらの設定を調整します。

メディアの再生

ギャラリービューの使用

ギャラリービューを使用すると、SDカードに保存されているすべてのビデオと写真にすばやくアクセスできます。

1. 再生画面で  をタップします。



2. 上にスワイプしてメディアをスクロールします。
3. フルスクリーンビューで表示するにはビデオや写真をタップします。
4. HiLight タグを追加するには、 をタップします。
5. 再生画面に戻るには、 をタップします。

注意: ギャラリービューは、カメラを縦向きに持っている場合は使用できません。また、SDカードに保存されているコンテンツの数が多いほど読み込みに時間がかかります。

複数のファイルの削除

1.  をタップします。
2. 削除するすべてのファイルをタップします。ファイルを選択解除するには、ファイルをもう一度タップします。
3. 選択したファイルを削除するには、 をタップします。

メディアの再生

モバイルデバイスでビデオ + 写真を見る

1. カメラを GoPro アプリに接続します。詳細については、[GoPro アプリへの接続](#) (58 ページ) をご参照ください。
2. アプリケーションのコントロールを使用して、ビデオと写真を再生、編集、共有します。

プロからのヒント: GoPro アプリを使用して、ビデオから静止写真を取り込んだり、長時間の撮影から短い共有可能なビデオを作成したり、スマートフォンにメディアを保存することができます。

コンピューターでビデオ + 写真を見る

コンピューターでメディアを表示するには、最初にファイルをコンピューターに保存する必要があります。詳細については、[メディアをコンピューターに転送する](#) (61 ページ) をご参照ください。

カメラを HDTV と併用する

HDTV でビデオ + 写真を見る

ビデオと写真をみんなで見られるように、大画面に表示します。

1. カメラのメイン画面から、下にスワイプしてダッシュボードにアクセスします。
2. 「ユーザー設定」 > 「入出力」 > 「HDMI 出力」 > 「メディア」をタップします。
3. マイクロ HDMI ケーブル (別売) を使用して、カメラを HDTV やモニターに接続します。
4. テレビで HDMI 入力を選択します。
5. カメラのモード ボタン  を押してコントロールに移動してから、シャッター ボタン  を押してコントロールを選択します。
例えば、モード ボタン  を使用して、> までサムネイルを移動してから、シャッター ボタン  を使って > をタップします。
6. ファイルをフルスクリーン ビューで開くには、 をタップします。

プロからのヒント: 互換性のあるテレビに microSD カードを直接挿入する方法でもメディアを再生できます。

カメラを HDTV と併用する

HDTV に接続された状態で、ビデオ + 写真を撮影する

カメラが HDTV やモニターに接続された状態で、ライブ プレビューを見るオプションです。

1. カメラのメイン画面から、下にスワイプしてダッシュボードにアクセスします。
2. 「ユーザー設定」 > 「入出力」 > 「HDMI 出力」の順にタップしてから、次のオプションのいずれかを選択します。
 - ・ 「モニター」をタップして、通常はタッチ スクリーンに表示されるアイコンやカメラ情報とともにカメラのライブ プレビューを表示します。
 - ・ 「ライブ」をタップすると、アイコンやカメラ情報は表示せずにライブ プレビューが表示されます。
3. マイクロ HDMI ケーブル (別売) を使用して、カメラを HDTV やモニターに接続します。
4. テレビで HDMI 入力を選択します。
5. カメラのシャッター ボタン  で撮影の開始と停止を行います。

その他のデバイスへの接続

GOPRO アプリへの接続

GoPro モバイル アプリを使用して、HERO7 Black を制御し、外出先でビデオや写真を共有したり、効果や音楽などで編集された QuikStory 映像に自動変換することができます。

初回の接続

1. Apple の App Store または Google Play から GoPro アプリをダウンロードします。
2. 画面上の指示に従いカメラに接続します。

iOS に関する注意: プロンプトが表示されたら、GoPro アプリからの通知を許可して QuikStory が使用できるようになっていることを確認します。詳細については、[QuikStory の作成](#) (60 ページ) をご参照ください。

2 回目以降の接続

- 1 回接続すれば、カメラの「接続」メニューから接続を開始できます。
1. カメラのワイヤレス接続がオンになっていない場合は、下にスワイプしてダッシュボードにアクセスします。
 2. 「ユーザー設定」 > 「接続」 > 「デバイスの接続」をタップします。
 3. GoPro アプリの画面の指示に従って接続します。

その他のデバイスへの接続

BLUETOOTH デバイスに接続する

GoPro を Bluetooth デバイスに接続して、映像に関するデータを取り込むことができます。データはあなたの冒険に関する統計データにより、ビデオの品質を向上させるのに役立ちます。

1. カメラを GoPro アプリに接続します。詳細については、[GoPro アプリへの接続](#) (58 ページ) をご参照ください。
2. アプリでカメラの設定を開き、「Bluetooth デバイス」をタップします。
3. 画面の手順に従って操作します。

接続速度の設定

他のモバイル機器と接続する場合、GoPro は 5 GHz の Wi-Fi 帯域 (最高速) を使用するように設定されています。

デバイスまたは地域が 5 GHz をサポートしていない場合は、Wi-Fi 帯域を 2.4 GHz に変更します。

1. 下にスワイプしてダッシュボードにアクセスします。
2. 「ユーザー設定」 > 「接続」 > 「Wi-Fi 帯域」をタップします

メディアの転送

QUIKSTORY の作成

スマートフォンにビデオや写真を自動的に送信するように、GoPro を設定できます。GoPro アプリでは、これらのメディアを使用して、音楽やエフェクトで編集されたビデオ (QuikStory) を作成します。

1. カメラを GoPro アプリに接続します。詳細については、[GoPro アプリへの接続](#) (58 ページ) をご参照ください。
2. アプリのホーム画面で下にスワイプします。直近のセッションからのショットがスマートフォンにコピーされ、QuikStory に変換されます。
3. QuikStory をタップして表示します。Quik アプリがない場合は、インストールするように指示されます。
4. Quik アプリで編集を行います。
5. QuikStory を保存するか、友人や家族、フォロワーとシェアすることができます。

最高のショットを見つけるには

最高のショットには忘れずに HiLight タグをつけましょう。

QuikStories は、ビデオを作成するときにタグを自動検索します。このため、お気に入りの場面がストーリーに含まれるようになります。

HERO7 Black でも、カメラに顔を向けたり、笑ったりする動作を検知します。これらのショットにデータが自動でタグ付けされるため、QuikStories でビデオに適したショットを選び出すことができます。

詳細については、[HiLight タグの追加](#) (24 ページ) をご参照ください。

メディアの転送

メディアをコンピューターに転送する

ビデオや写真をコンピューターにコピーして再生や編集を行うことができます。

Quik デスクトップ アプリの使用

1. コンピューターの OS が最新バージョンであることを確認してください。
2. [gopro.com/apps](#) から、Quik デスクトップ アプリをダウンロードしてインストールします。
3. 付属の USB-C ケーブルでカメラをコンピューターに接続します。
4. カメラの電源をオンにし、Quik アプリの画面の手順に従ってください。

SD カードから直接転送する

1. カメラから SD カードを取り外します。
2. SD カード リーダーまたはアダプターにカードを挿入します。
3. カード リーダーをコンピューターの USB ポートに接続するか、アダプターを SD カード スロットに挿入します。
4. ファイルをコンピューターに転送します。

メディアの転送

クラウドへの自動アップロード

GoPro Plus サブスクリプションを使用すると、メディアをクラウドに自動的にアップロードし、任意のデバイスから表示、編集、共有できます。

- GoPro Plus への登録:
 - Apple の App Store または Google Play から GoPro アプリをデバイスにダウンロードします。
 - 画面上の指示に従いカメラに接続します。
 - 初めて接続している場合は、画面の指示に従って GoPro Plus に登録します。または、カメラ選択画面で  をタップします。
- カメラを電源に接続します。バッテリーがフル充電されると、自動アップロードが開始されます。

初めてセットアップした後は、自動アップロードを開始するためにカメラをアプリに接続する必要はありません。

注意: 元のファイルは、クラウドにバックアップされた後でも、カメラに残っています。

プロからのヒント: コンピューターにファイルを保存している場合、Quik デスクトップ アプリが自動的にそれらのファイルを GoPro Plus アカウントにアップロードします。

メディアの転送

クラウドへの手動アップロード

カメラがフル充電される前に、メディアをクラウドに転送します。(GoPro は電源コンセントに接続されている必要があります)。

- GoPro Plus に登録します。
- カメラを電源に接続します。
- 下にスワイプしてダッシュボードにアクセスします。
- 「ユーザー設定」 > 「手動アップロード」の順にタップします。

クラウド メディアへのアクセス

- デバイスで GoPro アプリを開きます。
-  をタップし、「クラウド」を選択して、コンテンツの表示、編集、共有を行います。

プロからのヒント: クラウド メディアを使用して、QuikStory を作成します。Quik アプリを開いて、**+** をタップし、「GoPro Plus」を選択します。

メディアの転送

自動アップロードのオフ

カメラが電源コンセントに接続されるか、フル充電されるたびにアップロードを行うのを停止します。

1. 下にスワイプしてダッシュボードにアクセスします。
2. 「ユーザー設定」 > 「GoPro Plus」 > 「自動アップロード」 > 「アップロード」をタップします。
3. 「オフ」をタップします。

別のワイヤレス ネットワークへの接続

1. 下にスワイプしてダッシュボードにアクセスします。
2. 「ユーザー設定」 > 「GoPro Plus」 > 「ネットワーク」をタップします。
3. ネットワークを選択します。ネットワークが非表示に設定されている場合や、エンドユーザー ライセンス契約が必要となる場合 (ホテルのネットワークなど) は利用できません。
4. 必要に応じてパスワードを入力します。
5. をタップして、ネットワークを保存します。

GOPRO PLUS ユーザー設定の変更

自動アップロードの設定の管理、ワイヤレス ネットワークの設定などを行います。

1. 下にスワイプしてダッシュボードにアクセスします。
2. 「ユーザー設定」 > 「GoPro Plus」をタップします。

注意: GoPro Plus は、サインアップ後にユーザー設定で利用可能になります。

GoPro のカスタマイズ

ダッシュボードの使用

カメラが横向きの状態で、下にスワイプして、ダッシュボードやユーザー設定にアクセスします。



ダッシュボードの機能

ダッシュボードでは、次の設定をタップしてオンとオフを簡単に切り替えることができます。

-  音声コントロール
-  カメラのピープ音
-  QuikCapture
-  画面ロック

GOPRO のカスタマイズ



接続ステータス

接続状態を見るには、ダッシュボードの上部を確認します。

-  GPS がオンになっている (白)
-  GPS がオフになっている (グレー)
-  GPS が利用できない (グレー)
-  カメラが GoPro アプリに接続されている (白)
-  カメラが GoPro アプリとペアリングされていない (グレー)
-  カメラが GoPro アプリに接続されていない (グレー)
-  自動アップロードがオンで準備完了になっている (白)
-  自動アップロードがオフになっている (グレー)
-  自動アップロードがオンになっているが、準備ができていない (グレー)

GOPRO のカスタマイズ

ユーザー設定の変更

「ユーザー設定」で、用途に合わせて GoPro を設定します。

(P)

接続

ワイヤレス接続の有効化、新しいデバイスの接続、Wi-Fi 帯域の設定などを行います。詳細については、[GoPro アプリへの接続](#) (58 ページ) および [接続速度の設定](#) (59 ページ) をご参照ください。



一般

「一般」設定には、次の設定があります。

ビープ音のボリューム

高 (初期設定)、中、低、またはオフを選択します。ここで設定したボリュームは、ダッシュボードでオンまたはオフに切り替えることができます。

初期設定モード

モード ボタン  を使って GoPro の電源を入れた場合に、GoPro 撮影のモードを設定します。この設定は、QuikCapture には影響しません。

電源の自動オフ

5分、15分 (初期設定)、30分、または「なし」を選択します。

GOPRO のカスタマイズ

LED

点滅させるステータス ライトを設定します。「すべてオン」(初期設定)、「すべてオフ」、「フロント オフ」から選択できます。

時刻と日付

時刻と日付を手動で調整するために使用します。カメラを GoPro アプリまたは Quik デスクトップ アプリに接続すると、どちらも自動的に更新されます。

日付の形式

セットアップ時に選択した言語に基づいて自動的に設定されます。手動で変更することもできます。

ビデオ圧縮

ビデオのファイル形式を設定します。HEVC (ファイルサイズを削減) または H.264 + HEVC (H.264 により従来のデバイスとの互換性を最大化しながら、HEVC による高度な設定を使用) を選択します。



音声コントロール

音声起動を有効にしたり、音声コントロールの言語を選択したり、すべてのコマンドの一覧を確認できます。



タッチ スクリーン

横方向のロックをオンにしたり、スクリーン セイバーを設定したり、タッチスクリーンの明るさを調整します。

注意: 画面がオフになっても、カメラのボタンと音声コントロールが機能します。

GOPRO のカスタマイズ



地域

GPS をオンにして、使用する地域で GoPro が機能するように設定します。

GPS

GPS をオンにして、ユーザーの動く速度や距離などを追跡します。GoPro アプリでパフォーマンス ステッカーを追加し、ユーザーの動く速度、距離、高さを表示します。詳細およびモバイル デバイスとの互換性については、gopro.com/telemetry をご覧ください。

言語

カメラに表示する言語を選択します。

ビデオ形式

北米の場合は NTSC を、北米以外の場合は PAL を選択します。地域に適した形式を選択すると、屋内で録画されたビデオを再生したときに TV/HDTV でのちらつきを防ぐことができます。

規制

GoPro のすべての認定書を表示します。



バージョン情報

GoPro を更新し、カメラの名前、シリアル番号、ソフトウェア バージョンを確認します。

GOPRO のカスタマイズ



入出力

カメラの HDMI 出力方法を設定し、外付けマイクに適した設定を見つけてみます。



リセット

SD カードのフォーマット、カメラの初期設定へのリセット、カメラのヒントのリセットを行います。または、出荷時リセットを使用してカメラをクリアし、元の設定に復元します。

重要なメッセージ

問題が発生することはまれですが、問題が発生した場合は、HERO7 Black からユーザーに通知されます。表示されるメッセージの一部を次に示します。



温度の上昇

カメラの温度が高くなり、冷却が必要になると、タッチ スクリーンに温度警告アイコンが表示されます。カメラはオーバーヒートのリスクがある状況を認識するように設計されており、必要に応じてシャットダウンされます。この場合は、カメラをそのまま放置し、冷却してから使用してください。

注意: 高温になると、カメラの電力消費量が増えて、バッテリーの消耗が速くなります。

プロからのヒント: 特に気温が高い環境では、高解像度や高フレームレートでビデオを撮影すると、カメラはすぐに高温になります。低解像度および低フレームレートに切り替えて、オーバーヒートのリスクを低減しましょう。

重要なメッセージ



ファイル復旧

HERO7 Black は、破損したファイルを自動的に修復しようとします。録画中にカメラの電源が切れた場合、またはファイルの保存中に問題が発生した場合に、ファイルが破損することがあります。修復中に、ファイル復旧アイコンがタッチ スクリーンに表示されます。処理が終了してファイルが修復されると、カメラから通知されます。

メモリー カードがいっぱい

SD カードがいっぱいになると、カメラから通知されます。録画を継続するには、一部のファイルを移動または削除する必要があります。

カメラのリセット

GOPRO の再起動

カメラが応答していない場合は、モード ボタン  を 10 秒間押し続けます。これでカメラが再起動します。設定に変更はありません。

すべての設定を初期設定に戻す

カメラ名、パスワード、言語、およびビデオ形式を除くカメラのすべての設定を初期設定にリセットします。

1. 下にスワイプしてダッシュボードにアクセスします。
2. 「ユーザー設定」 > 「リセット」 > 「初期設定にリセット」をタップします。

接続のリセット

デバイスの接続をクリアし、カメラのパスワードをリセットします。接続をリセットすると、すべてのデバイスを再接続する必要があります。

1. 下にスワイプしてダッシュボードにアクセスします。
2. 「ユーザー設定」 > 「接続」 > 「接続をリセット」をタップします。

カメラのヒントのリセット

カメラのヒントを再び見たい場合は、次の方法で最初からすべて見ることができます。

1. 下にスワイプしてダッシュボードにアクセスします。
2. 「ユーザー設定」 > 「リセット」 > 「カメラのヒントのリセット」をタップします。

カメラのリセット

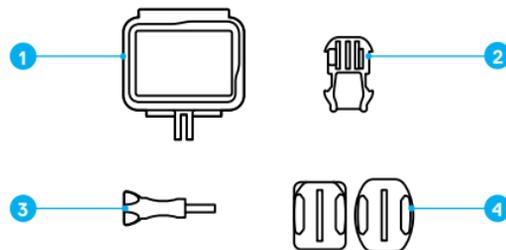
工場出荷時の設定に戻す

カメラの元の設定をすべて復元し、すべてのデバイス接続をクリアして、GoPro Plus からカメラの登録を解除します。これは、人にカメラを譲る場合や、オリジナルの状態に完全に戻したい場合に便利です。

1. 下にスワイプしてダッシュボードにアクセスします。
2. 「ユーザー設定」 > 「リセット」 > 「出荷時リセット」をタップします。

注意: 出荷時の設定を復元しても、SD カードからコンテンツが削除されたり、カメラのソフトウェアに影響を与えることはありません。

GoPro のマウント方法



マウント用取付具

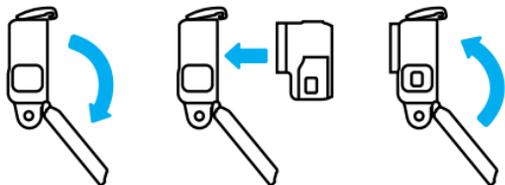
1. The Frame (ザ フレーム)
2. マウント用バックル
3. サム スクリュー
4. 粘着性ベース マウント (曲面 + 平面)

GoPro のマウント方法

THE FRAME を使用する

The Frame はカメラを GoPro マウントに取り付けるために使用されます。

1. ラッチのロックを解除し、ドアを開けます。
2. カメラをスライドさせて挿入します。カメラが The Frame の前端に接触して挿入されるようにしてください。
3. ドアを閉じます。
4. ラッチをロックします。



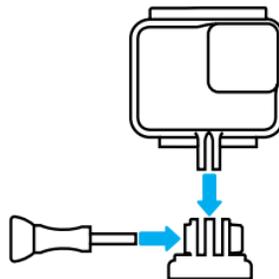
GoPro のマウント方法

カメラをマウントに取り付ける

カメラを The Frame に挿入したら、マウントできます。使用するマウントに応じて、マウント用バックルを使用するか、The Frame を直接マウント自体に取り付けます。

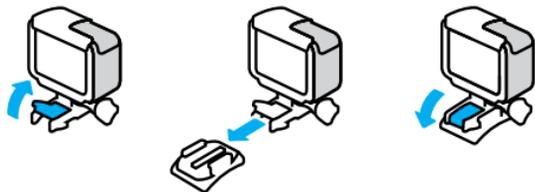
粘着性ベース マウントの使用に関するヒントについては、[マウントのヒント](#) (79 ページ) をご参照ください。

1. The Frame のマウント フィンガーを、バックルのマウント フィンガーと組み合わせます。
2. サム スクリューを使用して、The Frame をマウント用バックルに固定します。



GoPro のマウント方法

3. マウント用バックルをマウントに取り付けます。
 - a. マウント用バックル プラグをはね上げます。
 - b. カチッと音がして固定されるまでバックルをマウント側にスライドさせます。
 - c. プラグを押し込んでバックルと同じ高さになるようにします。



プロからのヒント: カメラをマウントしていないときでも、カメラを The Frame に入れたままにすることができます。The Frame に入れると、カメラを落とした場合の保護が少し強化されます。

GoPro のマウント方法

マウントのヒント

ヘルメット、車両、およびギアに接着ベース マウントを取り付けるときには、次のガイドラインに従ってください。

- ・ 使用する 24 時間以上前にマウントを取り付けます。
- ・ マウントは必ず滑らかな面に取り付けてください。凹凸やざらつきのあ
る面には、きちんと貼り付きません。
- ・ マウントを押し、しっかりと取り付けます。接着剤が表面に完全に接
触していることを確認します。
- ・ 必ず清潔で乾燥した面で使用してください。ワックスや脂分、汚れ、ホ
コリなどがあると、結合が弱まり、カメラを失くす可能性があります。
- ・ 室温の環境でマウントを取り付けます。接合面が低温だったり、湿度
の高い環境のなかでは適切に貼り付けられません。
- ・ 機器 (狩猟用の機器) などにカメラを取り付けることが許可されてい
るかどうか、州や現地の法令、法律を確認してください。家電やカメラの
使用を規定する法律に常に準拠してください。



警告: 思いがけない負傷を避けるために、カメラをヘルメットにマウントする際には流れ止めコードを使用しないでください。スキーやスノーボードに直接カメラを取り付けしないでください。

マウントの詳細については、gopro.com をご参照ください。

GoPro のマウント方法

警告: GoPro ヘルメット マウントまたはストラップを使用する場合は、常に該当する安全規格を満たしているヘルメットを使用してください。



実施するスポーツまたはアクティビティに適したヘルメットを選択し、ヘルメットが使用者に適したサイズでフィットしていることを必ず確認してください。ヘルメットが正常な状態であることを確認し、製造元の安全な使用に関する指示に必ず従ってください。

大きな衝撃を受けたヘルメットは交換してください。どのような事故においても怪我から身を守るヘルメットはありません。安全を維持してください。

水中 + 水辺での GOPRO の使用

HERO7 Black は、ドアが閉じた状態で 10 m の防水性能を備えています。ダイビングの前に、別途ハウジングを取り付ける必要はありません。

タッチ スクリーンは、濡れていても使用できるよう設計されていますが、コマンドの認識に問題が生じた場合は水を拭き取る必要があります。水中でも、カメラのボタンで操作することができます。詳細については、[ボタンでナビゲートする \(21 ページ\)](#) をご参照ください。

注意: The Frame によってカメラの防水性能がプラスされることはありません。

プロからのヒント: 流れ止めコードと Floaty (フローティー) (別売) を使用して、カメラがマウントから外れても浮いているようにします。

水深 60 m の絶景を撮影する際は、別売りの GoPro Super Suit (スーパースーツ: 総合保護 + ダイブ ハウジング) を使用します。

カメラの流れ止めコード、Floaty、および Super Suit の詳細については、[gopro.com](#) をご覧ください。

サイド ドアの取り外し

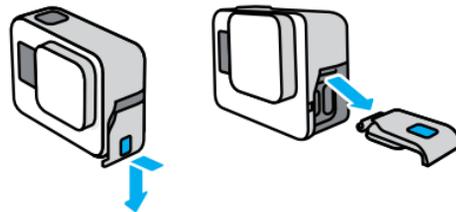
場合によっては、カメラのドアを取り外す必要があります。たとえば、The Frame 内で充電したい場合などです。



警告: 乾燥した、ほこりがない環境で使用している場合のみ、ドアを取り外します。ドアが開いていたり外されている状態のカメラに防水性能はありません。

サイド ドアの取り外し

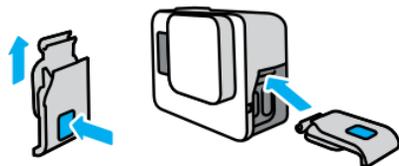
1. ラッチ リリース ボタンを押しながら、ドアをスライドさせて開きます。
2. ドアを引いて取り外します。



サイド ドアの取り外し

サイド ドアの取り付け

1. ラッチ レリーズ ボタンを押しながら、ドアのタブを引き延ばします。
2. 小さな銀色のバーに、タブを押し入れます。



メンテナンス

カメラの性能を最大限に引き出すには、次のヒントを参考にしてください。

- ・ GoPro は水深 10 m までの防水性能を備えているため、ハウジングの装着は必要ありません。水や土、砂の中で使用する場合は、ドアを必ず閉じてください。
- ・ ドアを閉じる前に、シール部分にチリやゴミがついていないことを確認します。必要に応じて、布を使用してシールを洗浄します。
- ・ ドアを開ける前に、GoPro が清潔で乾燥していることを確認してください。必要であれば、カメラに真水をかけてすすぎ、布で完全に水分を拭き取ります。
- ・ ドアの周囲に砂や泥などがこびりついている場合は、ドアを開ける前にカメラをぬるま湯に 15 分ほど浸して、その後十分にすすいで砂や泥を完全に取り除いてください。
- ・ 最高のオーディオ性能を引き出すためには、カメラを振るか、マイクの挿入口に息を吹きかけて、挿入口に入った水や泥を取り除きます。マイク穴から圧縮した空気を吹き込まないでください。内部の防水メンブレンを破損させる可能性があります。
- ・ 塩水が付着した場合は、必ずカメラを水ですすぎ、柔らかい布で拭いてください。
- ・ レンズ カバーは、非常に丈夫な強化ガラスで作られていますが、それでも傷やひびができる場合があります。柔らかく、糸くずの出ない布で拭いてください。
- ・ ゴミがレンズとトリム リングの間に詰まっている場合は、水や空気を取り除きます。レンズ周りに異物を入れないでください。

バッテリーの情報

バッテリー寿命を最大限に引き延ばす
バッテリーの残量が 10% を下回ると、タッチ スクリーンにバッテリー残量の低下を示すメッセージが表示されます。

ビデオの録画中にバッテリーが切れた場合は、録画が停止しビデオが保存されてから、電源がオフになります。

次のような方法で、バッテリー寿命を最大限に延ばすことができます。

- ・ 低いフレーム レートと解像度でビデオを録画する
- ・ Protune をオフにする
- ・ スクリーン セイバーを使用して画面の明るさを下げる
- ・ GPS をオフにする
- ・ ワイヤレス接続をオフにする
- ・ 次の設定を使用します。
 - ・ [QuikCapture](#) (22 ページ)
 - ・ [電源の自動オフ](#) (67 ページ)

電源接続時の撮影

カメラに同梱されている USB-C ケーブルを使用して、カメラを USB 式の充電アダプター、GoPro Supercharger、その他の GoPro 充電器、GoPro ポータブル パワー バックに接続した状態で、ビデオや写真を撮影できます。これは、長いビデオやタイム ラプス イベントを撮影するのに最適です。

カメラが接続されていても、録画中にはバッテリーは充電されません。録画を停止すると、充電が開始されます。コンピューター経由でカメラを充電中に撮影することはできません。

注意: 充電中はドアが開いているため、カメラは防水ではなくなります。

バッテリーの情報



警告: GoPro 以外の AC 充電器を使用すると、カメラのバッテリーが破損し、火災や液漏れが発生する恐れがあります。GoPro Supercharger (別売) 以外では、「出力 5V 1A」と記された充電器のみを使用してください。充電器の電圧と電流が不明の場合は、付属の USB ケーブルを使用して、カメラをコンピューターに接続して充電してください。

バッテリーの保管 + 取り扱い

HERO7 Black には、バッテリーなどの精密部品が多く含まれています。本機を極端な低温や高温にさらさないでください。極端な温度の環境では、バッテリーの寿命が一時的に低下したり、カメラが一時的に作動しなくなったりすることがあります。温度や湿度が急激に変化する環境でのご使用は、製品の内外に結露が発生する可能性があるため避けてください。

カメラを乾燥させる際に、電子レンジやヘア ドライヤーなどの外部熱源を使用しないでください。水や液体への接触によってカメラやバッテリーが破損した場合は、保証の対象となりませんのでご注意ください。

貨幣や鍵、ネックレスなどの金属と一緒にバッテリーを保管しないでください。バッテリーの接触子が金属に触れると、火災が発生する可能性があります。

許可されていない改造をカメラに加えないでください。許可されていない改造を行うと、安全、法令に関するコンプライアンスに抵触したりパフォーマンスが損なわれるおそれがあり、保証の対象外となります。

プロからのヒント: バッテリー寿命を最大限に延ばすために、収納する前にカメラをフル充電してください。

バッテリーの情報



警告: カメラまたはバッテリーの投下、分解、開放、破砕、折り曲げ、変形、穿刺、裁断、電子レンジによる加熱、焼却、塗装などを行わないでください。USB-C ポートなど、カメラの開口部に異物を入れないでください。亀裂ができた、穴が開いていたり、水没したりしたことが原因で破損したカメラは使用しないでください。バッテリーを分解したり、穴を開けたりすると、破裂や火災の原因になることがあります。

バッテリーの廃棄

ほとんどの充電式リチウム イオン バッテリーは、無害廃棄物に分類され、自治体の通常の廃棄物として処理することができます。多くの地域の条例では、バッテリーをリサイクルするよう求められます。お住まいの地域の条例を調べ、通常のゴミと一緒に充電式バッテリーが廃棄できるかどうかご確認ください。リチウム イオン バッテリーを安全に廃棄するために、接触子が他の金属に触れないよう、梱包、マスキング、絶縁用テープなどで適切に処理し、輸送中に火災が発生しないようにしてください。

ただし、リチウム イオン バッテリーにはリサイクル可能な材料が含まれており、充電式バッテリー リサイクリング コーポレーション (RBRC) のバッテリー リサイクリング プログラムでもリサイクル受け入れ対象となっています。北米のお客様は Call2Recycle (call2recycle.org にアクセスするか、1-800-BATTERY に電話) に問い合わせ、最寄りのリサイクル場を確認することをお勧めします。

バッテリーは火に投じると爆発する恐れがあるため、火のあるところには絶対に捨てないでください。



警告: カメラのバッテリーには、GoPro 製の交換バッテリーのみを使用してください。

トラブルシューティング

GOPRO の電源が入らない

GoPro が充電されているか確認してください。 + (10) をご参照ください。バッテリーを充電しても解決しない場合は、カメラを再起動してみてください。GoPro の再起動 (73 ページ) をご参照ください。

ボタンを押しても GOPRO が応答しない

GoPro の再起動 (73 ページ) をご参照ください。

コンピューターで再生した映像が途切れる

コンピューターで再生時の映像が途切れるのは、通常の場合ファイルの問題ではありません。映像がスキップされる場合は、原因として次のいずれかが考えられます。

- ・ コンピューターが HEVC ファイルをサポートしていない。
gopro.com/apps で、無料の Quik デスクトップ アプリの最新バージョンをダウンロードしてみてください。
- ・ お使いのコンピューターが、再生に使用しているソフトウェアの最小要件を満たしていない。

カメラのユーザー名またはパスワードを忘れた場合

下にスワイプしてダッシュボードにアクセスし、「ユーザー設定」 > 「接続」 > 「カメラ情報」をタップします。

ソフトウェアのバージョンが不明な場合

下にスワイプしてダッシュボードにアクセスし、「ユーザー設定」 > 「バージョン情報」 > 「カメラ情報」をタップします。

カメラのシリアル番号が見つからない

シリアル番号は、カメラのバッテリー コンパートメントの内側に刻印されています。また、下にスワイプしてダッシュボードにアクセスし、「ユーザー設定」 > 「バージョン情報」 > 「カメラ情報」をタップして確認することもできます。

よくある質問の他の回答については、gopro.com/help をご参照ください。

仕様: ビデオ

ビデオの解像度 (RES)

ビデオの解像度は、ビデオの各フレーム内の水平ラインの数を指します。1080p ビデオには 1080 本の水平ラインがあり、それぞれのラインの幅は 1920 ピクセルです。4K ビデオには 3840 本の水平ラインがあり、それぞれのラインの幅は 2160 ピクセルです。ラインが多いほど解像度が高くなるので、4K は 1080p 以上の鮮明な画像を提供することができます。

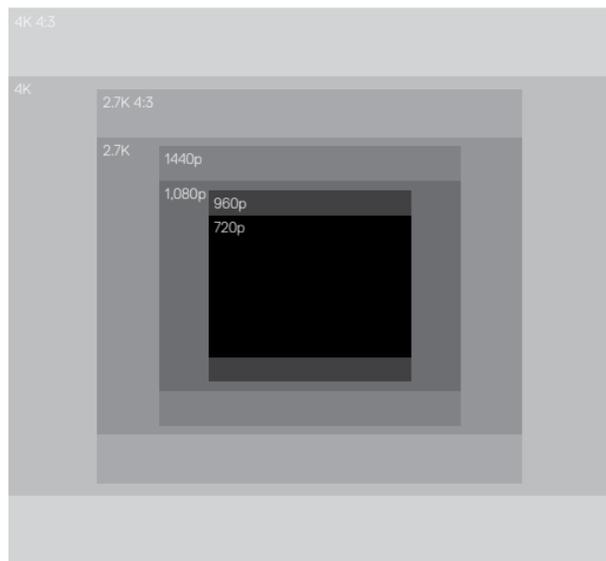
ビデオの解像度	最適な用途
4K	最高の解像度のビデオ。三脚や固定点での撮影に最適です。8 MP の静止画をビデオから取得することができます。
4K 4:3	最高の解像度のビデオ。縦長のアスペクト比 4:3 は 16:9 のショットより広いシーンを撮影することができます。POV 映像の撮影に最適です。
2.7K	16:9 の高解像度のビデオ。プロ仕様の製作用として迫力ある映画品質の映像を実現します。
2.7K 4:3	ボディやギアに搭載された主観的な高解像度のショットを、滑らかなスローモーションで再生するのに最適です。

仕様: ビデオ

ビデオの解像度	最適な用途
1440p	縦長のアスペクト比 4:3 は、1080p 以上のフレームに適合します。速い動きや主観的な撮影、ソーシャル メディアへの共有に最適です。
1,080p	あらゆるショットやソーシャル メディア サイトでのシェアに最適です。240 fps といった高 fps および 120 fps オプションにより、超スローモーションへの編集が可能です。すべての視野角で使用できます。
960p	縦長のアスペクト比 4.3 と 240 fps および 120 fps による撮影で、臨場感あふれる超スローモーション再生が可能になります。
720p	従来の機種でも再生可能な高フレーム レートのビデオを撮影する 240 fps のオプションが含まれています。

仕様: ビデオ

この表では、各解像度のフレーム サイズを比較しています。



プロからのヒント: 特に高解像度、高フレーム レートを使用している場合、選択された設定をお手持ちのスマートフォン、コンピューター、テレビがサポートしているかどうかご確認ください。

仕様: ビデオ

フレーム/秒 (FPS)

フレーム/秒とは、ビデオで1秒あたりに撮影されるフレーム数を表します。高い fps 値 (60、120 または 240) は、速い動きを撮影するのに適しています。また、高 fps の映像はスローモーション再生に使用することもできます。

解像度 + FPS

ビデオの解像度は高いほど、より鮮明でくっきりとした映像を撮影できますが、利用できる fps 値は一般的に低くなります。

ビデオ解像度を低くすると、映像は鮮明ではなくなりますが、高い fps 値で撮影できます。

解像度 | FPS 画面で解像度を選択すると、選択した解像度で使用できるすべてのフレーム レートが白で表示されます。使用できないフレーム レートはグレーで表示されます。

仕様: ビデオ

アスペクト比

アスペクト比は、画像の幅と高さを表します。HERO 7 Black は、2 つのアスペクト比でビデオと写真を撮影します。

4:3

縦長の 4:3 形式では、16:9 のワイドスクリーン形式よりも多くを画面に収めることができます。自撮りや主観的な映像を撮影するのに適しています。

16:9

HDTV や編集プログラム用の標準的な形式です。ワイドスクリーン形式は、映画のような印象的な映像を撮影するのに最適です。

注意: HDTV で 4:3 の映像を再生すると、画面の両側に黒いバーが表示されます。

仕様: ビデオ

視野角 (ビデオ)

視野角は、カメラが撮影できるシーンの広さを表します。ビデオ モードでは、最も広く撮影できるのが SuperView で、最も狭いのが魚眼無効です。

視野角	最適な用途
SuperView	世界で最もリアルな視野を誇る SuperView は、4:3 のコンテンツを 16:9 の画面に合わせて表示します。ボディ マウントやギア マウントの映像に最適です。
広角 (初期設定)	フレームいっぱいアクションを撮影したいときに最適な大きな視野角。
魚眼無効	広角や SuperView や広角の魚眼効果を取り除いた中間視野。航空映像や、従来の視点で撮影したいときに最適です。

注意: 選択した解像度およびフレーム レートと互換性がある視野角のみ使用可能です。

仕様: ビデオ

HERO7 BLACK のビデオ設定

カメラのビデオ解像度と、それぞれで使用可能な fps、FOV、アスペクト比の概要を示します。

ビデオ解像度 (RES)	FPS (NTSC/PAL)*	視野角	画面解像度	アスペクト比
4K	60/50	広角	3840x2160	16:9
4K	30/25 24/24	広角、 SuperView	3840x2160	16:9
4K 4:3	30/25 24/24	広角	4096x3072	4:3
2.7K	120/100	広角	2704x1520	16:9
2.7K	60/50 30/25 24/24	魚眼無効、広角、 SuperView	2704x1520	16:9
2.7K 4:3	60/50	広角	2704x2028	4:3
2.7K 4:3	30/25 24/24	魚眼無効、広角	2704x2028	4:3

仕様: ビデオ

ビデオ解像度 (RES)	FPS (NTSC/PAL)*	視野角	画面解像度	アスペクト比
1440p	120/100	広角	1920x1440	4:3
1440p	60/50 30/25 24/24	魚眼無効、 広角	1920x1440	4:3
1,080p	240/200	広角	1920x1080	16:9
1,080p	120/100 60/50 30/25 24/24	魚眼無効、広角、 SuperView	1920x1080	16:9
960p	240/200 120/100	広角	1280x960	4:3
720p	240/200	広角	1280x720	16:9
720p	60/50	魚眼無効、広角	1280x720	16:9

*NTSC と PAL はビデオのフォーマットで、お住いの地域により使用されているものが異なります。詳細については、[ビデオ形式](#) (69 ページ) をご参照ください。

推奨される設定については、[動きを捉える](#) (42 ページ) をご参照ください。

仕様: ビデオ



高解像度/高フレーム レート

屋外の気温が高い環境で高解像度または高 fps のビデオを撮影すると、カメラが高温になり消費電力が増える原因となります。

空気の流れがないところで GoPro アプリに接続すると、カメラがさらに高温になり、より多くの電力を使用するため、録画時間が短縮されてしまいます。

加熱による問題が発生した場合は、撮影するビデオを短くしてみてください。また、GoPro アプリのように、多くの電力を消費する機能の利用を控えてください。GoPro Smart Remote (スマート リモート) (別売) は、低消費電力で GoPro を制御できます。

シャットダウンして冷却する必要がある場合、カメラから通知されます。詳細については、[重要なメッセージ \(71 ページ\)](#) をご参照ください。

仕様: ビデオ

ビデオ安定化

GoPro は撮影中にビデオの両端を 5% ずつ (合計 10%) トリミングします。これにより映像がバツパされ、録画中のカメラの揺れを解消することができます。サイクリング、スケート、スキー、手持ち撮影などに最適です。

カメラは、解像度とフレーム レートを設定したときに使用するレベルを通知します。

HyperSmooth ビデオ安定化機能

HyperSmooth は、あなたの動きを正確に予想してカメラの揺れを修正することで、非常に滑らかなプロ仕様の映像を実現します。

HyperSmooth は、次の解像度と設定で使用できます。

ビデオ解像度 (RES)	FPS (NTSC/ PAL)*	視野角	画面解像度	アスペクト比
4K	60/50	広角	3840x2160	16:9
4K	30/25 24/24	広角、 SuperView	3840x2160	16:9
2.7K	60/50 30/25 24/24	魚眼無効、広角、 SuperView	2704x1520	16:9
2.7K	30/25 24/24	魚眼無効、広角	2704x2028	4:3

仕様: ビデオ

ビデオ解像度 (RES)	FPS (NTSC/PAL)*	視野角	画面解像度	アスペクト比
1440p	60/50 30/25 24/24	魚眼無効、広角	1920x1440	4:3
1,080p	60/50 30/25 24/24	魚眼無効、広角、SuperView	1920x1080	16:9
720p	60/50	魚眼無効、広角	1280x720	16:9

仕様: ビデオ

標準的なビデオ安定化機能

これらの設定により、標準レベルの安定化機能を利用できます。高フレームレートで次の解像度を利用する際に最適です。

ビデオ解像度 (RES)	FPS (NTSC/PAL)*	視野角	画面解像度	アスペクト比
4K	24/24	広角	3840x2160	4:3
1440p	120/100	広角	1920x1440	4:3
1,080p	120/100	魚眼無効、広角、SuperView	1920x1080	16:9
960p	120/100	広角	1280x960	4:3

プロからのヒント: 録画開始前にタッチ ズームを使用してショットをトリミングすることでも、映像を滑らかにすることができます。これで、ビデオの安定化に使用するバッファがさらに大きくなります。

仕様: ビデオ

安定化なし

次の解像度と設定では、超高フレームレートなどが原因で安定化を利用することができません。

ビデオ解像度 (RES)	FPS (NTSC/PAL)*	視野角	画面解像度	アスペクト比
4K	30/25	広角	3840x2160	4:3
2.7K	120/100	広角	2704x1520	16:9
1,080p	240/200	広角	1920x1080	16:9
960p	240/200	広角	1280x960	4:3
720p	240/200	魚眼無効、広角	1280x720	16:9

*NTSC と PAL はビデオのフォーマットで、お住いの地域により使用されているものが異なります。詳細については、[ビデオ形式](#) (69 ページ) をご参照ください。

ビデオ安定化のオフ

ビデオ安定化は初期設定でオンになっていますが、オフにすることもできます。

1. 「ビデオ」画面で、「設定」をタップします。
2. 「安定化」をタップします。

仕様: ビデオ

自動光量調整

HERO7 Black では、撮影時に十分な光量がない場合に通知し、自動的にフレーム レートを下げてビデオの画質を向上させることができます。これは特に、低光量の場所を出入りしているときに役立ちます。

自動光量調整は初期設定では「自動」に設定されています。50 FPS または 60 FPS での撮影時は、どの解像度でも機能します。

自動光量調整をオフにする

1. 「ビデオ」画面で、「設定」をタップします。
2. 「低光量」をタップします。

ループの間隔

GoPro を 5 分 (初期設定)、20 分、60 分、120 分のループ録画をするよう設定できます。また、「最大」と設定することも可能です。この場合、ループバックしてビデオの先頭から重ね撮りする前に、SD カードがいっぱいになるまで録画します。

仕様: 写真

スーパーフォト

スーパーフォトはシーンを自動的に分析し、ショットに最適な画像処理を適用します。

光量やショットの中の動きなどの条件に応じて、スーパーフォトが次の4つのオプションからいずれかを選択します。

ハイ ダイナミック レンジ (HDR)

複数の写真を1つのショットに結合し、明るい光と影が混在したシーンを鮮明な写真にします。

ローカル トーン マッピング

必要なところだけより鮮明にコントラストをつけることで、写真の品質を向上させます。

マルチ フレーム ノイズ低減

複数のショットを1枚の写真に自動的に結合して、デジタルの歪み(ノイズ)を低減します。

追加処理なし

条件に問題がない場合は高度な処理を適用せずに写真を撮影します。

スーパーフォトは、シングル フォトでのみ機能します。画像処理の適用のために時間が必要となり、各ショットを処理して保存するのに少し時間がかかる場合があります。

注意: スーパーフォトは、RAW 写真や Protune では機能しません。

仕様: 写真

スーパーフォトをオンにする

スーパーフォトは初期設定ではオフになっています。オンにする方法は以下の通りです。

1. 「写真」画面で「設定」をタップします。
2. 「スーパーフォト」をタップします。
3. 「自動」を選択します。

HDR をオンにして使用する

ハイ ダイナミック レンジ (HDR) は、スーパーフォトが写真の質を向上させるために用いる画像処理技術の一つです。写真を撮影するときは必ずHDRを使用するように GoPro を設定することができます。

1. 「写真」画面で「設定」をタップします。
2. 「スーパーフォト」をタップします。
3. 「HDR オン」を選択します。

HDR オンは、シングル フォトにのみ使用できます。最良の結果を得るには、高コントラストのショットで動きを最小限にして使用します。

注意: HDR は、RAW 写真や露出コントロールでは機能しません。

仕様: 写真

シャッター速度 (夜間 + ナイト ラプス フォト)

シャッター速度により、夜間やナイト ラプス フォト モードでカメラのシャッターが開いている時間が決まります。オプションと使用時のヒント

速度	例
自動 (最大 30 秒)	日出、日没、夜明け、夕暮れ、薄暮、夜間
2、5、10、15 秒	夜明け、夕暮れ、薄暮、夜間の自動車の往来、観覧車、花火、ライトペインティング
20 秒	夜間の空 (光源あり)
30 秒	夜間の星、天の川 (真っ暗闇)

プロからのヒント: 夜間とナイト ラプス フォトの使用時に手ブレを防ぐには、カメラを三脚に取り付けたり、安定した面に置いて、ぶれたり揺れたりしないようにします。

連写レート

次の高速設定のいずれかを使用して、素早いアクション シーンを撮影します。

- ・ 自動 (明るい場所で 1 秒間に最大 30 枚)
- ・ 1、2、3、6 秒に 30 枚
- ・ 1、2、3 秒に 10 枚
- ・ 1 秒間に 5 枚
- ・ 1 秒間に 3 枚

仕様: 写真

視野角 (写真)

視野角 (FOV) は、カメラのレンズを通して撮影できるシーンの広さを表します。HERO 7 Black は、2 つの視野角を使用して写真を撮影します。

視野角	説明
広角	フレームいっぱいにアクションを撮影したいときに最適な大きな視野角。
魚眼無効	広角の魚眼効果を取り除いた中間視野。航空映像や、従来の視点で撮影したいときに最適です。

RAW 形式

この設定がオンになっている場合、写真はすべて .jpg 画像 (カメラで表示する場合や GoPro アプリで共有する場合) および .gpr ファイルで保存されます。 .gpr ファイルは、Adobe.dng 形式に基づいています。これらのファイルは、Adobe Camera Raw (ACR)、バージョン 9.7 以降で使用できます。また、Adobe Photoshop Lightroom CC (2015.7 リリース以降) および Adobe Photoshop Lightroom 6 (バージョン 6.7 以降) も使用できます。

仕様: 写真

写真モードでは、次の場合を除き RAW 形式を写真、夜間、タイム ラプス フォトおよびナイト ラプス フォトで使用できます。

- ・ スーパーフォトがオフになっている必要があります。
- ・ 視野角を「広角」に設定する必要があります。
- ・ ズームをオフにする必要があります。
- ・ RAW 形式は連続写真の撮影時には使用できません。
- ・ タイム ラプス フォトでは、間隔は 5 秒以上にする必要があります。
- ・ ナイト ラプス フォトでは、シャッター設定は 5 秒以上にする必要があります。

プロからのヒント: .gpr 形式の写真は、.jpg ファイルと同じファイル名で、同じ場所に保存されます。ファイルにアクセスするには、カード リーダーに SD カードを挿入し、コンピューターのファイル エクスプローラーでファイルを見つけます。

仕様: タイム ラプス

TIMEWARP ビデオの速度

TimeWarp ビデオの速度を最大 30 倍速にすれば、長時間のアクティビティを共有することができます。

この表は、ビデオのおおよその長さを示しています。例えば、2 倍速で 1 分間録画すると、約 30 秒の TimeWarp ビデオが作成されます。2 倍速で 4 分間録画すると、約 2 分間の TimeWarp ビデオが作成されます。

速度	撮影時間	ビデオの長さ
2x	1 分	30 秒
5x	1 分	10 秒
10x	5 分	30 秒
15x	5 分	20 秒
30x	5 分	10 秒

注意: 撮影時間はおおよその時間です。ビデオの長さはショット内に含まれる動きによって異なる場合があります。

速度	例
2x~5x	景色のよい道路での運転
10x	ハイキングや探検
15x~30x	ランニングやマウンテンバイク

プロからのヒント: 最高の結果を得るため、不安定な映像を撮影する場合は 10 倍速以上をお試しください。

仕様: タイム ラプス

ビデオの解像度 (TIMEWARP + タイム ラプス ビデオ)

HERO7 Black は、TimeWarp とタイム ラプス ビデオを 4 種類の解像度で撮影します。初期設定では、4K の 16:9 アスペクト比の広角視野角です。

次のオプションがあります。

解像度	アスペクト比
4K	16:9
2.7K	4:3
1440p	4:3
1,080p	16:9

詳細については、以下をご参照ください。

- ・ [ビデオの解像度 \(RES\)](#) (88 ページ)
- ・ [アスペクト比](#) (92 ページ)

仕様: タイム ラプス

タイム ラプスの間隔

間隔の設定により、カメラがタイム ラプス ビデオやタイム ラプス フォト モードの場合に、写真を撮影する頻度が決定します。

使用可能な間隔は、0.5 (初期設定)、1、2、5、10、30、60 秒です。

間隔	例
0.5 秒～ 2 秒	サーフィン、自転車、他のスポーツ
2 秒	往來の激しい街かど
5 秒～10 秒	雲や屋外風景の長時間撮影
10 秒～60 秒	工事や芸術作品の製作など、長時間を要する動き

仕様: タイム ラプス

タイム ラプス ビデオの録画時間

この表を使用して、撮影するビデオの長さを決定します。たとえば、0.5 秒間隔で 5 分間録画すると、20 秒のタイム ラプス ビデオが作成されます。15 分間録画すると、1 分間のビデオが作成されます。

間隔	撮影時間	ビデオの長さ
0.5 秒	5 分	20 秒
1 秒	5 分	10 秒
2 秒	10 分	10 秒
5 秒	1 時間	20 秒
10 秒	1 時間	10 秒
30 秒	5 時間	20 秒
60 秒	5 時間	10 秒

プロからのヒント: 最良の結果を得るために、カメラを三脚に取り付けたり、安定した面に置いて、ぶれたり揺れたりしないようにします。TimeWarp ビデオを使用して、動いている間にタイム ラプス ビデオを撮影します。

詳細については、[TimeWarp](#) (38 ページ) をご参照ください。

仕様: タイム ラプス

ナイト ラプス フォトの間隔

ナイト ラプス フォト モードで GoPro が写真を撮影する頻度を選択します。ナイト ラプスの間隔は、自動、4 秒、5 秒、10 秒、15 秒、20 秒、30 秒、および 1 分、2 分、5 分、30 分、60 分です。

「自動」(初期設定) を選択すると、シャッター設定の間隔と同期されません。シャッター速度が 10 秒に設定されていて、間隔が自動の場合は、カメラは 10 秒ごとに写真を撮影します。

間隔	例
自動	すべての露出に最適 (シャッターの設定に応じて、できるだけ素早くシャッターを切ります)
4~5 秒	夕刻の街の風景、街の照明、動きのある場面
10~15 秒	明るい月夜の雲の動きなど、ゆったりとシーンが移り変わる薄暗い環境での撮影
20~30 秒	最小限の環境光量や街灯の下で見上げる星空のように、極めて低光量または極めて動きの少ないシーンの撮影

仕様: Protune

PROTUNE

Protune は、色、ホワイト バランス、シャッター速度などを手でコントロールすることにより、カメラが持つ潜在的な創造力をすべて引き出します。プロ仕様の色補正ツールや Quik デスクトップ アプリなどの編集用ソフトウェアと互換性があります。

いくつかのポイントをご紹介します。

- ・ Protune は、ループ、TimeWarp、およびタイム ラプス ビデオを除く全モードの高度な設定として利用できます。
- ・ Protune がオンになっている場合は、設定メニューが拡張され、すべての設定へのフル アクセスが可能になります。上にスワイプすると、すべてを確認することができます。
- ・ 露出コントロールを使用する場合、一部の Protune の設定は使用できません。
- ・ ある撮影モードで Protune 設定を変更した場合、その撮影モードにのみ適用されます。たとえば、ナイト フォトのホワイト バランスを変更しても、連写のホワイト バランスに影響を与えることはありません。

プロからのヒント: 設定メニューを使用して、すべての Protune 設定を初期設定の状態に復元することができます。

- ・ Protune がオンの場合は、「設定」 > 「Protune の設定」をタップします。
- ・ Protune がオフになっている場合は、「設定」 > 「Protune」 > 「Protune の設定」をタップします。

仕様: Protune

カラー

カラーを使用することで、ビデオや写真のカラー プロファイルを調整できます。カラー画面の右側のオプションをスクロールして、それぞれの設定のライブプレビューを確認してから、必要なオプションをタップします。

カラー設定	結果のカラー プロファイル
GoPro カラー (初期設定)	GoPro の色修正プロファイルを使用します (Protune がオフになっているときでも同じ優れた色調が得られます)。
平面	フラットはニュートラルなカラー プロファイルで、他の機材で撮影された映像と統合しやすいように色補正できるので、録画後の製作の幅が広がります。その対数曲線が原因で、フラットでの撮影時には影とハイライトの描写がより鮮明になります。

ホワイト バランス

ホワイト バランスを使用するとビデオや写真の色温度を調整し、寒色と暖色のバランスを最適化できます。ホワイト バランス画面の右側のオプションをスクロールして、それぞれの設定のライブプレビューを確認してから、必要なオプションをタップします。

この設定のオプションは、自動 (初期設定)、2300K、2800K、3200K、4000K、4500K、5500K、6000K、6500K、ネイティブです。値を小さくすると、暖色が強くなります。

また、ネイティブを選択して最小限に色補正したファイルを作成し、ポストプロダクション時により正確な調整を行うこともできます。

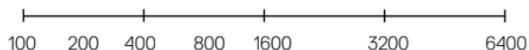
仕様: Protune

最小/最大 ISO

最小 ISO と最大 ISO を使用すると、カメラの光とイメージ ノイズに対する感度の範囲を設定できます。画像ノイズとは、画像上の粒度を意味します。

低光量時は、ISO 値が高いほどより明るい映像を得られますが、画像ノイズが高くなります。値が低いほど、画像が暗くなり、イメージ ノイズが低くなります。カラー画面の右側のオプションをスクロールして、それぞれの設定のライブ プレビューを確認してから、必要なオプションをタップします。

最大 ISO の初期設定値は、ビデオの場合は 1600 で、写真の場合は 3200 です。最小 ISO の初期設定値は 100 です。



画像が暗ければ暗いほど、
画像ノイズも小さくなる

画像が明るければ明るいほど、
画像ノイズも大きくなる

注意: ビデオおよび写真モードでは、ISO の動作は Protune のシャッター設定に応じて異なります。選択した最大 ISO は、ISO の最大値として使用されます。適用される ISO 値は、照明条件に応じて、より低くなる場合があります。

プロからのヒント: 特定の値に ISO をロックするには、最小 ISO と最大 ISO を同じ値に設定します。

仕様: Protune

シャッター

Protune のシャッター設定は、ビデオ モードとフォト モードにのみ適用されます。この設定では、シャッターが開いている時間を決定します。シャッター画面の右側のオプションをスクロールして、それぞれの設定のライブ プレビューを確認してから、必要なオプションをタップします。初期設定は自動です。

写真の場合、オプションは自動、1/125、1/250、1/500、1/1000、1/2000 秒です。

ビデオの場合、オプションは次に説明されているように、fps の設定によって異なります。

シャッター	例 1: 1080p30	例 2: 1080p60
自動	自動	自動
1/fps	1/30 秒	1/60 秒
1/(2xfps)	1/60 秒	1/120 秒
1/(4xfps)	1/120 秒	1/240 秒
1/(8xfps)	1/480 秒	1/960 秒

プロからのヒント: ビデオや写真の手ブレを減らすために、シャッター設定の使用中は、カメラを三脚または安定した場所に固定して、ぶれたり揺れたりしないようにします。

仕様: Protune

露出値の補正 (EV COMP)

露出値を補正すると、ビデオと写真の明るさに影響します。この設定を調整することで、コントラストの強い照明状況下での撮影時に画像品質が改善されます。

この設定のオプションは、-2.0~+2.0 です。初期設定は 0 です。

EV 修正画面の右側のオプションをスクロールして、それぞれの設定のライブプレビューを確認してから、必要なオプションをタップします。値が高いほど、画像が明るくなります。

注意: ビデオでは、この設定は、シャッターが自動的に設定されている場合にのみ利用できます。

また、シーンの特定の領域に基づいて露光を調整することもできます。詳細については、[露出コントロール](#) (44 ページ) をご参照ください。

プロからのヒント: 露出値の補正は、既存の ISO 設定内で、明るさを調整します。低光量下で、明るさが ISO 設定に達している場合は、露出値補正を上げても、効果はありません。明るさを高めるには、より高い ISO 値を選択します。

仕様: Protune

画質

画質コントロールは、ビデオ映像と写真で撮影した詳細の質を設定します。この設定のオプションは、高 (初期設定)、中、および低です。

画質画面の右側のオプションをスクロールして、それぞれの設定のライブプレビューを確認してから、必要なオプションをタップします。

プロからのヒント: 編集中に画質を上げるには、この設定で低を選択してください。

仕様: Protune

RAW オーディオ

標準の .mp4 オーディオトラックに加えて、ビデオ用の .wav ファイルを作成します。RAW オーディオトラックに適用される処理のレベルを選択できます。

オプション	説明
オフ (初期設定)	個別の .wav ファイルは作成されません。
低	最小限の処理を適用します。ポスト プロダクションでオーディオ処理を適用する場合に最適です。
中	手動オーディオコントロール (風やステレオ) に基づいて処理を適用します。手動オーディオコントロールをオフにすると、カメラは、ウィンドフィルターとステレオオーディオを自動的に切り替えます。
高	完全なオーディオ処理 (自動ゲイン、AAC エンコーディング、および手動オーディオコントロール設定) を適用します。

SD カードをカードリーダーに挿入して、コンピューターの .wav ファイルにアクセスします。.mp4 ファイルと同じ名前で、同じ場所に保存されます。

仕様: Protune

マイクの設定

3つのマイクを使って、ビデオの撮影中に音声を録音します。撮影時の条件や、完成したビデオに使用したいサウンドの種類に基づいて、使用方法をカスタマイズすることができます。

オプション	説明
自動 (初期設定)	ステレオ録音と風切り音フィルタリングを自動的に切り替えることで、すっきりとしたオーディオトラックを実現します。
ステレオ	風がノイズになっていない場合に、GoPro が確実にステレオ録音を行えるようにする目的で使用します。
ウィンド	風の強い日か、GoPro を移動中の乗り物に搭載している場合にノイズをフィルタリングします。

カスタマー サポート

GoPro はベスト サービスに万全を期しております。GoPro カスタマー サポート チームへのお問い合わせについては、gopro.com/help をご参照ください。

登録商標

GoPro、HERO およびそれぞれのロゴは、米国およびその他諸国における GoPro, Inc. の商標または登録商標です。© 2018 GoPro Inc. All rights reserved. 中国製。Hecho en China. 特許に関する情報については、gopro.com/patents をご参照ください。GoPro, Inc., 3000 Clearview Way, San Mateo CA 94402 | GoPro GmbH, Floessergasse 2, 81369 Munich, Germany



本製品は、限定的なライセンスに基づいて販売され、次の3つの条件を満たす HEVC コンテンツに関連して使用される場合に限り、使用が許可されません。(1) 個人的使用のみを目的とした HEVC コンテンツ、(2) 販売を目的としない HEVC コンテンツ、(3) 製品の所有者によって作成された HEVC コンテンツ。本製品は、第三者によって作成された HEVC エンコード コンテンツ (ユーザーが第三者に発注した、または第三者から購入したコンテンツ) に関連して使用することはできません。ただし、ライセンスを受けたコンテンツの販売者が、当該コンテンツとともに本製品を使用する権利をユーザーに個別に付与している場合を除きます。本製品を HEVC エンコード コンテンツに関連して使用する場合、上述の限定的な使用権限について承諾したものとみなされます。

規制情報

国別の認定書の詳細なリストをご覧いただくには、カメラに付属の Important Product + Safety Instructions (重要な製品 + 安全情報) を参照するか、gopro.com/help をご利用ください。

